

2019 第 6 回路面電車のある風景コンテスト 審査結果

主催: 全日本写真連盟広島県本部
応募者数: 31 人 応募点数: 106 点
審査・講評: 富田健治(総本部理事)

推薦



「始発電車」

安田慶子(東広島市・タウン支部)

早朝の原爆ドームに光が当たり清々しさを感じる中、明かりをつけ一番電車が走る光景を上手く捉えた秀作です。川面に投影された輝きも画面効果を高めています。

特選



「新旧車とも快走」

福井昭作(広島市・タウン支部)

交差する新旧の電車がすれ違う瞬間をハイアングルから向こう岸のビル街を写し込み都会の雰囲気醸し出した優雅な作品となりました。



「ヒロシマ暮景」

宮田順正(広島市・フォトプラス支部)

電車と大きなビルの組み合わせ、右端にドームを入れたアイデアは面白さがある。もう少し周辺が暗くなるとビルに灯がつき暮れ行くころの雰囲気が漂う。

準特選



「帰りみち」

荒田尚美(広島市・フォトジェンヌ支部)

横断歩道を渡る人、待つ運転士の顔、登場人物それぞれの表情が面白く表現されている。歩く人の顔の色調が悪く補正が必要。修正すれば人生観、奥行きのある深みの出た作品となる。



「駆け抜ける」

石原一夫(岡山市・個人会員)

ビルを中心にハイキー調の斬新な構図。手前の円形に電車の流し撮り、チヨットシャッターが早く、1枚後のカットがよかったのでは。

入選 (都道府県・支部)



「急ぐ人」
三戸康正
(岡山市・レイルクラダ岡山)



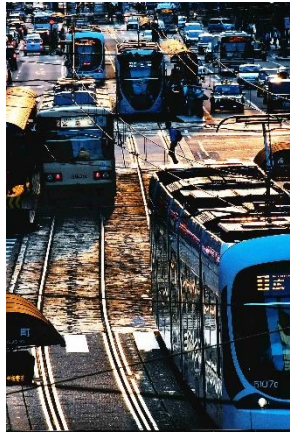
「仲良し」
野村京子
(広島市・広島支部)



「電車を降りて」
三次凱彦
(広島市・広島支部)



「チャギントン電車が行く」
山口雅之
(赤磐市・フォト2000支部)



「都会の谷間」
林 敏弘
(福山市・タウン支部)



「雪の日」
西尾 弘
(東広島市・タウン支部)



「線路はつづく」
太田和子
(香南市・野市支部)